

# 2020年版 「中小企業白書」「小規模企業白書」の概要

2020年版の「中小企業白書」および「小規模企業白書」が令和2年4月24日に中小企業庁より発表されました。2020年版白書では、中小企業・小規模事業者に期待される「役割・機能」や、それぞれが生み出す「価値」に着目し、経済的な付加価値の増大や、地域の安定・雇用維持に資する取組を調査・分析しました。また、新型コロナウイルス感染症の影響や、中小企業・小規模事業者における具体的な対応事例等についても掲載しています。

本誌では概要について掲載しておりますが、中小企業庁HPにて白書全文がご覧いただけます。ぜひ一読ください。

中小企業庁 HP:<https://www.chusho.meti.go.jp/pamflet/hakusyo/index.html>

## 総論:中小企業・小規模事業者の動向

### 1. 中小企業の新陳代謝と生産性・業績

- ・廃業した企業の労働生産性は相対的に低いが、一部で生産性の高い企業の廃業も生じている。
- ・経営者の高齢化や後継者不足を背景に、年間4万者以上の企業が休廃業・解散しているが、このうち、約6割は黒字企業。培ってきた技術や従業員などといった中小企業の貴重な経営資源を、次世代の意欲ある経営者に引き継いでいくことが重要。

### 2. 中小企業の4つの役割・機能と目指す姿

- ・中小企業・小規模事業者を、役割や機能に着目した4つの類型(①グローバル型、②サプライチェーン型、③地域資源型、④生活インフラ関連型)に分類し、比較・分析。
- ・中小企業の「目指す姿」は多様であり、業績や成長意向も、類型ごとに傾向が異なる。企業の役割や機能を意識した支援が重要に。

## I. 新たな価値を生み出す中小企業

### 1. 中小企業を取り巻く環境と「付加価値増大」の必要性

- ・我が国の中小企業は、残業規制や同一労働同一賃金といった「働き方改革」をはじめ、最低賃金の継続的な引上げ、被用者保険の適用拡大など、相次ぐ制度変更への対応が必要。
- ・中小企業の労働分配率は高止まり。労働者への分配に対する意識が高まる中、起点となる付加価値の増大が不可欠。

#### 〈企業が生み出す付加価値について(考え方)〉

